

地域貢献ボランティア事業 「福井新聞心のふれあい一声運動」

福井新聞福井会

お年寄りや子どもの見守りなど 地域社会の安心・安全な まちづくりに寄与

●実施期間

2002年4月～

●実施地域

福井県内

●活動概要

福井新聞福井会では、福井県の「安心・安全なまちづくり」に寄与するため、2002年4月から「お年寄り宅の見守り」を柱に「福井新聞心のふれあい一声運動」を始めた。11年目からは「子どもの見守り」活動にも取り組んでいる。

毎朝の新聞配達時にお年寄り宅などで普段と違った状況に気付いた際に、地区の民生委員や自治会長、警察などの関係機関に連絡し、病人、けが人の早期発見に努めている。また「子どもの安全見守り中」のステッカーなども車体に張って犯罪や事故の防止を図るとともに、不審者を発見した際は積極的に警察に通報することとしている。活動成果は協力団体に報告するとともに、必要に応じて紙面でも紹介している。

*

福井新聞福井会＝福井新聞系統の85販売店で組織。山岸寛士（やまぎし・ひろし）会長

■「福井新聞心のふれあい一声運動」要項

名称	福井新聞心のふれあい一声運動	平成24年10月
主唱	福井新聞社、福井新聞福井会（福井新聞販売店会）	
協力	福井県、福井県警、福井県社会福祉協議会、福井県民生委員児童委員協議会	
運動開始	平成14年4月1日	
趣旨	福井新聞の配達網を生かし、福井県の「安心安全なまちづくり」に寄与します。福井県唯一の郷土紙として事業を営む福井新聞社の社会的な地域貢献活動と位置付けています。運動は「お年寄り宅の見守り」を主にスタートしました。10年が経過し多くの成果があったと自負するところです。11年目を迎え主眼を「子どもの見守り」にも拡大し活動します。	
内容	毎朝の新聞配達時に、お年寄り宅などで「新聞がポストにたまっている」「未明にもかかわらず電気がついたまま」などふだんとは違った状況に気付いた場合、地区の民生委員や自治会長、警察など関係機関に連絡し、病人、けが人の早期発見に努めます。子どもたちの「見守り活動」にも取り組みます。「見守り中」のステッカーを車に張って犯罪や事故の抑止を図るとともに、不審者を発見した際は積極的に警察に通報します。「心のふれあい一声運動」の活動成果は定期的に協力団体に報告するとともに、必要に応じて福井新聞紙面で読者、県民にも告知します。	
参加者	福井新聞販売店全店（福井県内全85店、店主と従業員約2,500人）	
事務局	福井新聞社地域読者局（福井市大和田2丁目801、電話0776-57-5170）	

■スタッフに協力を要請するパンフレット

(表)

(裏)



■マグネットシートを車に張り活動に取り組んでいる



福井新聞 2002年2月26日付

■「福井新聞心のふれあい一声運動」の活動事例

(平成25年8月まで、福井新聞福井会)：一部を掲載

時期	活動内容
25年8月	午前4時ごろ、配達中の女性スタッフが、側溝に転落しうめき声を上げている男性を発見。携帯電話を持っていなかったため、直ちに近くの家のチャイムを鳴らし、救急車を手配していただいた。すり傷程度のけがで済んだもよう。後にご家族からお礼の訪店がありました。
25年7月	集金の女性スタッフ(70代)が午前10時ごろ、集金業務をしている最中、草刈作業をしていた60代男性が急に苦しみだし「救急車を呼んでほしい」と助けを求めてきた。男性は口からあわをだし、かなり切迫した状況。スタッフはすぐに救急車を呼び、すぐさま心臓マッサージを実施。男性は心筋梗塞だったようで、救急車手配と処置が早く、一命を取り留めた。集金スタッフは、かつて幼稚園の先生をしており、その際に心臓マッサージを学んだことがあるため、落ち着いて心臓マッサージを行えたよう。翌日、男性の妻が、集金人さんにお礼にこられた。
24年5月	「新聞が4日ほどたまっている」と配達員から報告を受けた。現場に行き、近所の人に調べてもらいました。2階で倒れている男性を発見し、すぐに病院に連れて行き、一命は取り留めました。



福井新聞 2012年11月27日付

毎日新聞愛の手運動

毎日新聞大阪市・府毎日会連合会(会長 丹生勝)
 毎日新聞京都・兵庫専売会連合会(会長 厚主幸三)
 毎日新聞近畿専売会連合会(会長 宮井良継)
 毎日新聞中四北専売会連合会(会長 坂本知光)

40年以上にわたり 社会的弱者のために物品を寄贈

贈呈記念の紙面



●実施期間

1972年～

●実施地域

毎日新聞大阪本社発行エリア

●活動概要

大阪市・府、京都、兵庫、近畿、中国、四国、北陸地区の4つの毎日新聞の連合会は、1972年から購読料の一部を積み立てて、年1回、地域の自治体もしくは各種団体と協議し、社会的弱者・恵まれない人のために物品を寄贈している。毎日新聞創刊100周年を機にスタートし、40年という長期間継続して行っている活動である。

寄贈した物品は車いす、巡回入浴車、入浴介護ベッド、配食サービス車、電動タイプライターなど多岐にわたる。自治体や各種団体単独ではなかなか購入できない高価な物品もあり、長年にわたり多くの自治体・団体に使用している。

毎日新聞大阪市・府毎日会連合会(会長 丹生勝)、毎日新聞京都・兵庫専売会連合会(会長 厚主幸三)、毎日新聞近畿専売会連合会(会長 宮井良継)、毎日新聞中四北専売会連合会(会長 坂本知光)

●寄贈物品一覧

年	年号	地域	寄贈物品	地域	寄贈物品	
1972	昭和	奈良県	床平型暖機一式			
1973		奈良県	電動タイプライター			
1974		奈良県	電動タイプライター、備品購入代金、テレビモニター			
1975		奈良県	施設建設資金	堺市	除び箱、平均台	
1976		堺市	備品購入代金	生駒市	備品購入代金	
1977		奈良県	備品購入代金	生駒市	備品購入代金	
1978		堺市	ボランティア、クリスマスプレゼント	生駒市	クリスマスプレゼント	
1979		奈良県	慈善事業資金寄贈	生駒市	クリスマスプレゼント	
1980		奈良県	備品購入代金	生駒市	クリスマスプレゼント	
1981		奈良県	備品購入代金			
1982		生駒市	クリスマスプレゼント			
1983		奈良県	車椅子	兵庫県	車椅子	
1984		奈良県	備品購入代金	豊岡市	備品購入代金	
1985		奈良県	備品購入代金			
1986		大阪府	団体協賛金	たつの市	備品購入代金	
1987		奈良県	ボランティア、クリスマスプレゼント	兵庫県	備品購入代金	
1988		奈良県	備品購入代金			
1989	平成	兵庫県	毎日ふれあい号【入浴車】			
1990		豊岡市	毎日ふれあい号【入浴車】	奈良市	毎日ふれあい号【入浴車】	
1991		出雲市	毎日ふれあい号【入浴車】	高松市	毎日ふれあい号【入浴車】	
1992		大野市	毎日ふれあい号【入浴車】	山中町	毎日フレッシュ号【入浴車】	
1993		奈良市	毎日ふれあい号【入浴車】	京都市	毎日ふれあい号【入浴車】	
1994		岸和田市	介護ベッド	八幡市	介護ベッド	
1994		中国地区・四国地区各地で展開	社会福祉協議会へ助成金	奈良県	ローカー	
1995		和歌山県	福祉資金、ボランティア、入浴補助具	和歌山県	紙折機	
1995		和歌山県	介護ベッド	伊丹市	介護ベッド	
1996		奈良県	備品購入代金	和歌山県	医療備品資金	
1996		奈良県	施設建設資金	和歌山県	衣類乾燥機、エアマット、施設備品	
1996		和歌山県	ボランティア	中国地区・四国地区で展開	義父市	介護ベッド
1996		伊丹市	介護ベッド	三豊市	介護電動ベッド	
1996		奈良市	毎日ふれあい号【入浴車】	中国地区・四国地区で展開	宇治市	介護電動ベッド
1997		和歌山県	災害備品、パソコン、テレビ、洗濯機	中国地区・四国地区で展開	和歌山県	車椅子
1997		八尾市	介護ベッド	和歌山県	車椅子	
1997		奈良市	毎日ふれあい号【入浴車】	和歌山県	施設建設資金	
1997		奈良市	防犯灯	和歌山県	車椅子	
1997		和歌山県	車椅子	和歌山県	テレホンカード・古切手	
1998		中国地区・四国地区各地で展開	介護ベッド	西脇市	毎日ふれあい号【入浴車】	
1999		堺市	毎日ふれあい号	八尾市	毎日ふれあい号	
2000		奈良市	介護ベッド	中国地区・四国地区で展開	和歌山県	毎日ふれあい号
2001		奈良市	毎日ふれあい号	中国地区・四国地区で展開		
2002		中国地区・四国地区各地で展開				
2003		中国地区・四国地区各地で展開				
2004		中国地区・四国地区各地で展開				
2005		中国地区・四国地区各地で展開				
2006		近畿圏	もったいない運動資金			
2007		堺市	AED			
2008		和歌山市	AED			
2009		京都府	AED			
2010		奈良市	AED			
2011		奈良市	車椅子			
2012		奈良市	車椅子			
2013		和歌山県	車椅子			



「毎日ニュース」より



2001年10月号

読者の善意を寄託 岡山市の7専売店が古切手などを社協へ
 岡山市内の毎日新聞専売店7店舗の代表が1月29日、同市石岡町の県社会福祉協議会を訪れ、読者から寄せられた使用済みのテレホンカードなど約2000枚と古切手1万枚を寄託した。
 テレホンカードなどは、7店舗合同で毎月1回発行しているミニコミ紙「ふれあい」で昨年3月から、読者に協力をお願いして集めている。寄託は今週3回目。県毎日新聞専売会の玄吉副会長と写真中央1人と近藤登副会長ら3人が、元英一ボランティアセンター所長に手渡した。元所長は「関係する団体に贈り、有効に利用してもらう」と話し、玄吉会長は「読者の協力に感謝している。これからも呼びかけを続けていきたい」と話している。

1997年3月号

京都、八幡市でも貸し出しを始める

シルバー愛の手運動で贈った入浴介護ベッド

毎日新聞社と毎日新聞大阪社事業部、毎日新聞販売部が「シルバー愛の手運動」で、京都府八幡市に巡回入浴車を贈った。八幡市では、巡回入浴車の無料貸し出しが七月十日、同市内の障害者「宅」であり、地元販売所を代表して片岡勇男所長(八幡)が立会った。写真裏に入浴介護ベッドは、ベッドと浴槽、リフトが一体化した画期的なクレーンシステムで、アップリカヒューマン

ウエル社大阪中央支店が開発。毎日新聞社などから八幡市と大阪府岸和田市に四台ずつ贈った。八幡市では、巡回入浴車の無料貸し出しは、残る三台も対象者に無料貸し出しをする。「シルバー愛の手運動」は、毎日新聞社と毎日新聞大阪社事業部が、購入した入浴介護用品の一部の積み立てとダイヤルQ(0990-505-294)基金などが充てられる。

1994年8月号

「毎日新聞奈良三重専売会四十年の歩み」より

専売会の取り組み 昭和48(1973)年

活動方針
 かかげた目標は必ず完遂
 会合には皆出席

■解決大協議会(役員)「やぶ」(会員19人)
 <専売会対抗組織競争 3連勝>

第3回祝勝専売会 香港・マカオ(参加者30人)、初めての海外専売会
 第3回専売会大会 組員会「星輝」(従業員150人)
 第3回新聞少年大会 富田林市「PLランド」(新聞少年88人)

・解決大協議会(役員)「やぶ」(会員19人)
 北ブロック-天理市「天理観光ホテル」 西・東・南ブロック-橿原市「奈良県農業会」

・7・8・9月解決大協議会
 全専売店相当増収競争・増収成績優秀賞
 奈良県専売会 Aランク3店、Bランク8店、Cランク4店、Dランク1店

・毎日新聞専売会入会式 9月22日
 <目的>専売会日進の中心・販売業務の研究開発と、視野をひろめ見識を高め、あわせて会員相互の親睦を深める
 (定年:35歳 第1回会員:31人-近畿全体)

・本紙購読料の改定 セット1,100円(+200円)、統合850円(+150円) 7月～

・愛の手運動-無償で自由見(若)父母の会連合会へ電動タイプライター毎日見贈呈



1992年10月号

巡回入浴車を贈る運動

18台目は境港市に

毎日新聞社、毎日新聞大阪社事業部、毎日新聞販売部連合会が取り組んでいる巡回入浴車を贈る運動の十八台目の巡回入浴車「毎日ふれあい号」は九月二十五日、境港市に贈られた。同市役所で行われた贈呈式には、本社から松井販売局長、中谷販売第四部長、中川米子支局長、大阪社会事業部の田中常務理事、牧田事務局長、販売部を代表して、遠藤専売会専売会長代行(松崎)はじめ、地元販売所長など約三十人が出席した。

松井販売局長が佐々木同市助役にマコトキーを贈呈。同助役が「住みよい長寿社会を作るため、入浴車を役立てたい」といいます。「毎日ふれあい号」は、松井局長、遠藤専売会長代行がテープカットをした。写真裏に「毎日ふれあい号」は、同市から委託を受けた老人ホーム「幸福苑」が運用し、十月中旬から初めて贈ったお年寄りに入浴サービスを開始する。

(販売第四部)



1992年10月号

みんなが住みやすい街へ ～防犯・高齢者見守り・環境保全活動～

毎日新聞松永販売所 所長 坂本知光

高齢者見守り・環境保全・防犯活動を通して 地域に根差した地域貢献

●実施期間

高齢者見守り=1990年頃～
環境保全=1997年～
防犯=2011年9月～

●実施地域

広島県福山市松永地区

●活動概要

広島県福山市の毎日新聞松永販売所所長の坂本知光さんは、「みんなが住みやすい街へ」を合言葉に防犯活動、高齢者見守り活動、環境保全活動など地域に根差した活動を行っている。

防犯活動は2011年から犯罪情報を掲載したミニコミ紙を毎月作成しているほか、12年11月には警察署と「防犯協定」を締結し、地域住民を犯罪から守る取り組みを継続している。高齢者見守り活動は、配達中などに異変を感じた時は速やかに警察に報告している。環境保全活動では、1997年3月に有志で「環境市民ネット松永」を立ち上げ、大型粗大ゴミの不法投棄が目立っていた松永湾の清掃活動、水質浄化活動、子ども向けの環境イベントの実施などを行い、環境意識向上にも貢献している。

*

坂本知光(さかもと・ともみつ)

●防犯活動

ご愛読者さまへ

いつも毎日新聞をご愛読いただき、まことにありがとうございます。さて、このたびは福山市・尾道市の毎日新聞は、当該の各警察署と協力し、皆様により安心して暮らしていただけるよう、地域を見守る取り組みをはじめました。

ポストに新聞がたまったお宅はないか？
送子がないか、不審者がないか？

など、日ごろの新聞配達や集金業務で地域を回る機会があることがあれば、最寄りの警察署に速やかに連絡をお願いします。

また、警察署から提供を受けた防犯情報など、生活の安全に役立つ情報を、皆様にお知らせしていきます。

今後とも、毎日新聞をご愛顧下さいますよう、何卒宜しくお願いいたします。

福山市・尾道市
毎日新聞販売所

毎日新聞発行のご案内

【毎日新聞】
日本で最も歴史のある新聞、客観的かつ鋭い視点で切り取り、新聞協会賞最多受賞！

【毎日小学生新聞】
人気急上昇中。お子様はもちろんだら、大人も読みながらニュースを学べます。受験対策にも！

【月刊ニュースが分かる】
話題のニュースを豊富なイラストで分かりやすく解説。新聞とセットで読むと理解がアップ！

ご購読・お読みしご要望は・・・
0120-468-012 まで！

★安全・安心情報の使い方

①このチラシを半分に切って右側をご使用下さい。

②「わが家の連絡先」欄には、ご家族やご親類の携帯電話番号、学校の電話番号など、自由に書き込んで下さい。

③お宅先や冷感など、ご家族の見やすい場所に貼って下さい。

～お届けする松永販売所

ミニコミ紙「まつなが毎日情報ひろば」
(2013年5月号・第21号)より「防犯かわらばん」

毎日新聞専売会 警察署と防犯協定

福山西署と毎日新聞専売会は21日、防犯協定を締結し、地域住民を犯罪から守る取り組みを継続している。協定を締結し、握手する池田泰明(左)と毎日新聞松永販売所所長坂本知光(右)と。同日新聞専売会松永販売所所長坂本知光(右)と毎日新聞松永販売所副所長池田泰明(左)と。

坂本知光(右)と池田泰明(左)と。同日新聞専売会松永販売所所長坂本知光(右)と毎日新聞松永販売所副所長池田泰明(左)と。

坂本知光(右)と池田泰明(左)と。同日新聞専売会松永販売所所長坂本知光(右)と毎日新聞松永販売所副所長池田泰明(左)と。

警察署との防犯協定締結
毎日新聞松永販売所
(2012年11月22日付)

●環境保全活動

イシマキガイ、エビの幼生、ハゼ... 水中の生き物観察

福山市松永町の海や川で18日、水中にすむ生き物の生態を調べる「夏の海辺教室」があった。市内の小学生や保護者ら約40人が参加し、川に入って小さな魚を見つけた子どもたちが目を輝かせた。松永地区の環境保全活動などに取り組む「環境市民ネット松永」などが主催し、水生生物研究家の保光義文さん(74)＝安芸区一＝を講師に招き、同地区を流れる羽原川や松永湾の水中を調査した。子どもたちは網を片手に水底に沈んだ石をひっくり返し、イシマキガイやエビの幼生、小さなハゼの一種などを発見。生き物の形や動き方をつぶさに観察した。市立今津小5年の古賀野泰志君(10)は「川の上から眺めてもアメンボしかいなかったのに、中に入って調べてみると意外な生き物がたくさんいて楽しかった」と笑顔で話していた。他にも着づくりや廃油石けんづくりなど工作コーナーがあった。【豊田将志】



環境市民ネット松永・夏の海辺教室実施
毎日新聞備後版(2012年8月20日付)

「あさりの棲める干潟をめざして 活動の記録 2007-2008」より



Event File

干潟の日イベント in松永
2008.4.13(日)10:00～16:00
戸崎海岸・七番浜・瀬崎神社西入川・松永公民館

1997年4月14日、長崎県長門郡の干潟が閉じられました。それにより、かつては海とつながっていた干潟が死の海と化し、重大な漁業被害が発生しました。被害が議論される「国営松永干潟事業」ですが、海の生態系に与える影響は甚大です。そのため、4月14日を「干潟の日」としてメモリーし、身近な環境を改善しようという動きが全国各地で起こりました。かつて「遼方の海」と呼ばれた松永湾も汚染が進み、多くの海の生きものが姿を消しました。松永湾の実情と我々の活動を知ってらおうと「干潟の日イベントin松永」を開催しました。

内容

①海の生きもの教室(10:00～13:00) / 戸崎、七番浜、瀬崎神社西入川
「水生生物とその棲息環境について」
瀬野川水生生物研究所 代表 保光義文氏
「環境市民ネットまつながについて」

②活動報告会(13:30～15:10) / 松永公民館
「水生生物とその棲息環境について」
瀬野川水生生物研究所 代表 保光義文氏
「環境市民ネットまつながについて」

③EM菌作り(15:20～16:00)
イーエムカンパニー 内川正樹氏

参加費

生物観察 : 30名子ども12名、大人12名、先生2名、会員4名
活動報告会 : 25名
EM菌作り : 15名

主催
環境市民ネットまつなが

皆さんこんにちは。かんばつです。干潟は素晴らしい生きもの世界です。子どもたちが生き物に興味を持ち、その生態を学ぶことは、自然の恵みを受け、命の大切さを学び、環境を大切にするきっかけになります。干潟の生き物たち、このかけがえのない生命の持ち主たち。生物界の一員である私たち人間のあり方を考えさせられた一日でした。

さて、先日、保光先生の「海のいきもの教室」に参加させていただきました。
(神谷 郁奈)

夏の海辺教室 in 松永湾・羽原川 Part.5

夏だ “海へ出かけよう”
“親子で楽しいひとときを ハクセンシオマネキや トビハゼが待ってるぞ!”

場所 福山市松永町(栄町会館) (松永駅東側を南へ渡り、スーパーいこうの所を左へ約100m。左側に日本パックス松永の隣り)
午後5時の生物観察(グリーンパーク(松永)・薪之浜北・戸崎)
日時 2013年7月21日(日)10時～16時
(雨天のときは時間を短縮して屋内で行います)

講師 保光 義文(工学博士)
参加費 大人 500円(小学生だけの参加は出来ません)(午前・午後だけの参加もOK)
先着30名 7月6日までに申し込みして下さい。

午前 [松永]	午後 [松永南・戸崎]
① 生物観察(松永川・薪之浜北(おとし))	② 薪之浜南
③ 薪之浜北	④ 薪之浜南
10時00分～12時	12時～13時
12時～13時	13時30分～14時
13時30分～14時	14時30分～16時

持って来る物 弁当、手袋、水筒、筆記用具、着替え、タオル、長靴
水の入ったペットボトル(手、長靴洗い用)、新聞紙(1日分)
カメラ(生き物の写真を撮りたい人)

主催 環境市民ネット松永
後援 福山市教育委員会 福山市子供会育成協議会第9ブロック 坂本新聞
連絡先 084-933-5796(昼) (鍼灸・指圧協竹園院) 園竹まで
084-934-0508 (毎日、山陽新聞松永販売所) 坂本まで

夏の海辺教室参加申込書

学区	学年	氏名	保護者氏名	連絡先	○をつけて下さい
					午前・午後・終日

2013年夏の海辺教室
参加募集チラシ

活動の軌跡

年	エコライフ	イベント	環境問題	その他
2008	干潟の日イベントin松永	干潟の日イベントin松永	水生生物観察会	環境市民ネット松永の活動
2007	干潟の日イベントin松永	干潟の日イベントin松永	水生生物観察会	環境市民ネット松永の活動
2006	干潟の日イベントin松永	干潟の日イベントin松永	水生生物観察会	環境市民ネット松永の活動
2005	干潟の日イベントin松永	干潟の日イベントin松永	水生生物観察会	環境市民ネット松永の活動
2004	干潟の日イベントin松永	干潟の日イベントin松永	水生生物観察会	環境市民ネット松永の活動
2003	干潟の日イベントin松永	干潟の日イベントin松永	水生生物観察会	環境市民ネット松永の活動
2002	干潟の日イベントin松永	干潟の日イベントin松永	水生生物観察会	環境市民ネット松永の活動
2001	干潟の日イベントin松永	干潟の日イベントin松永	水生生物観察会	環境市民ネット松永の活動
2000	干潟の日イベントin松永	干潟の日イベントin松永	水生生物観察会	環境市民ネット松永の活動
1999	干潟の日イベントin松永	干潟の日イベントin松永	水生生物観察会	環境市民ネット松永の活動
1998	干潟の日イベントin松永	干潟の日イベントin松永	水生生物観察会	環境市民ネット松永の活動
1997	干潟の日イベントin松永	干潟の日イベントin松永	水生生物観察会	環境市民ネット松永の活動
1996	干潟の日イベントin松永	干潟の日イベントin松永	水生生物観察会	環境市民ネット松永の活動

活動の軌跡

高梁・寺山城址の調査・保存および川面地域まちづくり推進活動

山陽新聞川面販売所 所長 藤井洋治

長らく放置されていた地域の歴史的資産の調査・保存に貢献

●実施期間

2004年8月～

●実施地域

岡山県高梁市川面地域

●活動概要

岡山県高梁市の山陽新聞川面販売所所長の藤井洋治さんは、廃城の後に長らく放置されていた中世山城・寺山城跡を「地域の子どもたちの歴史学習の場として、さらなる観光振興にも役立てたい」と2008年8月、地元有志20人と「寺山城址保存会」を設立した。

同会の会長として一帯の草刈りをするるとともに、現地調査を実施して、貴重な遺構が残る歴史的資産を後世に伝えるため、史跡公園づくり、駐車場整備などを進めた。

現在も週1回で草木を伐採。新たな調査を進めるとともに、地元小学生への課外授業、観光客へのガイダンスを行うなど、地域愛をはぐくむ情操教育、まちおこしに大きく寄与している。

*

藤井洋治(ふじい・ようじ)



現地の課外授業で藤井所長から寺山城址について学ぶ地元の児童たち



地元の児童たちから藤井所長に寄せられた感想文集や学習内容をまとめた冊子



川面地域まちづくり推進委員会・史跡部会が作った寺山城址のリーフレット



川面地域まちづくり推進委員会・史跡部会が高梁市から表彰された「高梁ふるさとづくり功労賞」の賞状を手に一層の活動推進を誓う藤井所長



測量調査によって概要が明らかになった寺山城址の地図



延長2キロの大規模山城

保存会が確認 備中松山城に次ぐ

高梁市川面町にある寺山城・寺山城跡は、延長約2キロの大規模な山城であることが、地元有志20人からなる「寺山城址保存会」が現地調査によって確認された。この山城は、備中松山城に次ぐ大規模な山城として、歴史の宝庫と見られる。

寺山城跡は、川面町にある寺山城跡の北側にあり、延長約2キロの山城跡が確認された。この山城は、備中松山城に次ぐ大規模な山城として、歴史の宝庫と見られる。

寺山城跡の概要は、川面町にある寺山城跡の北側にあり、延長約2キロの山城跡が確認された。この山城は、備中松山城に次ぐ大規模な山城として、歴史の宝庫と見られる。

寺山城跡PR 看板製作、設置

高梁市川面町、川面町にある寺山城跡のPRを目的として、看板の製作と設置が行われた。この看板は、寺山城跡の概要や歴史をわかりやすく紹介している。

寺山城跡の概要は、川面町にある寺山城跡の北側にあり、延長約2キロの山城跡が確認された。この山城は、備中松山城に次ぐ大規模な山城として、歴史の宝庫と見られる。

「こどもの安全を見守る家」活動

徳島新聞八万西専売所 所長 久米一仁

ステッカーを作成・配布 地域の子どもたちを見守る活動

●実施期間

2004年～

●実施地域

徳島県徳島市上八万町、八万町

●活動概要

徳島県徳島市の徳島新聞八万西専売所所長の久米一仁さんは、2004年2月に低学年児童が男につきまとわれる事件が起こった際に、小学校、PTA、警察と協議を重ねて「あんぜんの家」ステッカーを作成した。約500軒の協力家庭の玄関や郵便受けなど、道路沿いの目立つ位置に張ってもらい、地域全体の犯罪の抑止力としている。

さらにエリア内のすべての新小学1年生全員の顔写真を写したカレンダーを作成し、新入生の顔を知ってもらうため、「あんぜんの家」協力家庭に配布するなど、地域全体で子どもを見守る活動の中心的な役割を果たしている。

*

久米一仁（くめ・かずひと）

◎こどもを見守る活動



2004年に配布され、今も各家庭の玄関やポストに張られている「あんぜんの家」ステッカー。



見守り活動を行う販売店員

徳島新聞 2004年3月9日付



上八万小学校児童の見守り活動に協力する徳島新聞八万西専売所員

配達中児童見守り
徳島新聞 八万西専売所 不審者対策で活動

児童への付きまといを生じたことを受けた措置。不審者対策として、徳島市の上八万小学校区をエリアに持つ徳島新聞八万西専売所のスタッフが、配達などの業務中に子供たちに注意を払う見守り活動を開始した。二月下旬に低学年児童が男につきまといられる事件が「トッピー」と「TOKU」は、新聞をくわえた鳥

SHIN STAFFのロゴが背中や胸に入った二種類（青とグレーの薄手と紺色の厚手）のジャンパーを着用する。付きまとい事件発生後、学校やPTAが対応を協議する中、保護者でもある久米一仁所長（三枚）が協力を申し出た。三枚千鶴子校長は「教職員らでカバーし切れない部分も出てくると思う。地域ぐるみで安全対策に取り組んでいただき、ありがたい」と話している。

◎カレンダーの配布活動



エリア内すべての新小学1年生の顔写真入りカレンダーを印刷・配布している（左端は久米所長）